水産業振興をめざし 愛媛大学南予水産研 - が始動!

たい」とあいさつを述べました。 後、大学とともに、新たな水産振興をめざしてい 長が「この開所式を迎え、非常に感激している。 していきたい」とあいさつがあり、続いて、谷口町の基礎研究を通じ、地域と密着した活性化策をめざ 所式があり、 同式典では、 化をめざす「愛媛大学南予水産研究センター」の |式典では、小松正幸愛媛大学学長が「水産養殖水産業者等の関係者、約80名が出席しました。 西海支所で、 愛媛大学や南予の自治体首長、 水産養殖の研究を通じた地域活性 今 漁 き

愛媛大学南予水産研究センターの役割

接にするため、水産課に「水産研究開発室」 全国的にも注目される愛媛大学の取組みです。 域住民と連携、協力して地域貢献をめざす施設で、 大学の研究力を効果的に地域活性化に結びつける 水産業の活発な愛南町に活動拠点を置き、 同センターと漁協や水産業者等の連携を密 地域に根ざした活動をサポー (西海 地

「生命科学」「環境科学」 の

産研究センター

民から「地域特別研究員」を公募しま 員研究員と学生が、研究成果の地域還 知・香川・京都・北海道の各大学の客 を定期的に開催する予定です。 す。この他、 元をめざします。 に招き「あいあいセミナー(仮称)」す。この他、地元ゆかりの人物を講師 1、愛媛大学の教員のほかに、高の3研究部門、9つの分野で構成 また、愛媛大学が住 「社会科

おりです。 主な研究内容については、 左図のと

ター事務室(凪82-1022) にご連 絡ください。 今後、愛媛大学南予水産研究セン の活動内容等、 詳しくは、 同セン



センター長・副センター長 センター長:山内皓平教授副センター長:若林良和教授 管理委員会 参与会 運営委員会 研究部門 地域連携研究支援 生命科学 社会科学 環境科学 ●海洋資源利用開発研究分野 ●水産社会・文化研究分野 ●漁場環境科学分野 水産経済・経営研究分野)水産養殖研究分野 (香川大学))生産流通基盤研究分野 魚類栄養学客員分野 赤潮研究客員分野 魚病研究分野 (高知大学) 主な研究活動 最先端技術を用いた 養殖場環境の実態解 海業(地域水産業、 明と環境浄化法の開 ブルー・ツーリズム) 養殖技術や新養殖種

発による養殖環境の

修復、赤潮発生のメ

カニズムの解明と赤

潮防除に関する研

を核にした地域活性

化、生産流通基盤に

関する調査研究、精

密養殖システムの構

築。

究。

の開発。未利用海洋資

源の有効活用による

魚病の研究と魚類

寄生虫の駆除技術開

特定健康食品開発。

発。